

集団子宮がん検診の留意事項について

R7年度版

不正出血等自覚症状のある方	集団検診は無症状の方が対象です。 子宮頸がん以外の病気の可能性もありますので、検診ではなく医療機関を受診してください。
婦人科に通院中 または経過観察中の方	医療機関を受診してください。（主治医にご相談ください。）
体重135kg以上の方	診察台の安全構造上、お受けいただくことはできません。
妊娠中の方	お受けいただくことはできません。妊婦健康診査での検査をお願いいたします。
生理中の方	生理中でもさしつかえありませんが、極めて出血の多い時は避けてください。 細胞採取が十分にできなかった場合、再検査の案内をさせていただきます。
子宮全摘手術をされた方	子宮がん検診は必要ありません。 子宮頸部を残す方式で手術された方は、医療機関にご相談ください。
避妊リング装着中の方	検診当日に医師の判断により細胞採取ができないこともあります。
子宮がんの既往歴のある方	いつ検診を再開してよいかは主治医にご相談ください。 経過観察が終了している場合は、ご受診いただけます。

◎性経験のない方の子宮頸部がん検診について

子宮頸部がんの発生は、性交渉によるＨＰＶ感染が原因と考えられています。
検査時に陰鏡を使用することで、性経験のない方は損傷・出血などを生じることがあり、治療が必要となる場合があります。
従って、検診車内での検診は不適切と考えられ、近くの医療機関への受診をお願いしております。